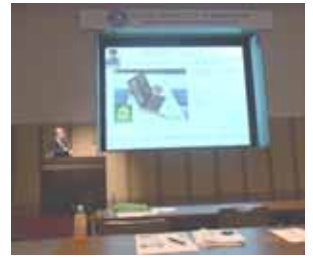


## URC活動報告

### ビッグデータ&オープンデータ研究会IN九州(略称:BODIK)のキックオフイベントを開催しました!

12月2日、URCが主催者の一つでもあるBODIKのキックオフイベントが開催されました。この研究会は、今話題のビッグデータ(ICT技術の発達によって蓄積されてきている膨大な電子情報の活用)やオープンデータ(電子情報の一般開放、特に行政における電子情報の民間開放)について、九州、福岡における事業者、大学等研究者、行政機関職員の情報交換、データ分析の人材育成などに関するプラットフォームとなることを目的に、福岡市、九州先端科学技術研究所、そしてURCの三者で、今年5月に設立されました。



URCは、2012年度の総合研究として「ユビキタスコンピューティングによる人に優しく活力ある都市づくり」をテーマに、特にオープンデータに焦点をあて、世界各国の施策の動向やアジアの取組みに関する調査研究を行い、福岡市に提言を行いました。

この研究が高く評価されたこともあり、積極的にオープンデータ施策を推進していくこととしている福岡市、そしてビッグデータに関する情報の普及啓発やデータ分析に関する人材育成などに取り組むこととしている九州先端科学技術研究所と一緒に、BODIKの設立に参加することとなったものです。

今回のキックオフイベントは、シーサイドももちのSRPビルで、統計数理研究所の樋口所長さまのキーノートスピーチ(写真)などの内容で実施しましたが、平日の午後にもかかわらず、200名余の定員に対して満席に近い参加者にお出でいただき、大変盛況のうちに終了しました。

現代は、人・モノ・カネ、そして「情報」が経営資源といわれています。情報は効率よく利活用されてはじめてその価値が生じるものです。ビッグデータ、オープンデータへの取組みは、情報の利活用を加速度的に推進していく大きな可能性を持っており、地域産業の活性化、成長につながる重要な情報インフラになるものと考えております。

今回のキックオフイベントの盛り上がりを継続しながら、BODIKが、九州、福岡におけるビッグデータ、オープンデータ活動の中心となるようがんばって取り組んでいくこととしています。

(事務局長 梶原信一)

### 都市セミナー「国際看護人材養成連携福岡会議」を開催しました!

去る12月7日に渡辺通りの共創館カンファレンスにおいて都市セミナー「国際看護人材養成連携福岡会議」が開催されました。特定非営利活動法人アジアエイジングビジネスセンターが主催し、URCも福岡市と一緒に会議共催団体の一つとして参加しました。会議は、第1部は「EPAの枠組みの次に向けて」、第2部は「高齢化するアジア太平洋と民間事業者の将来」という2部構成です。



第1部では、アジア太平洋地域の高齢化社会の現状と、介護人材養成の必要性やEPA(二国間経済連携協定)における介護人材養成の問題について、ハワイ大学のキャサリンブラウン教授、AABC理事長でURCの副主幹研究員でもある熊本学園大学の小川教授(写真)のお二人から報告が行われましたが、国際会議らしく、韓国、インドネシア、シンガポールの研究者が参加し、いずれの国においても高齢化の問題が避けて通れない大きな社会問題であるという共有認識の下、活発な意見交換が行われました。

第2部では、中国で介護福祉事業を運営している(株)SMSと(株)リエイの二つの企業から中国における介護福祉事業の運営の現状について報告がありました。日本の介護福祉サービスは他のアジア諸国と比較すると、先行して高齢化対応を進めてきたこともあり、高い水準にありますが、実際にそれを中国の中で事業展開するには、法令制度の相違はもちろん、高齢者サービスのあり方に対する家族の価値観、雇用労働者の取扱いなど、様々な課題を解決していく必要があります。試行錯誤の積み重ねであることが報告されました。リスクテイクをいとわず取り組んできた努力の結果、いずれの企業も日本式の配慮のいきとどいたサービスを生かした取組みが地元で高い評価を得るまでになっています。

会議は4時間と長めでしたが、時間を感じさせないとても充実した内容でした。

(事務局長 梶原信一)

### アジア都市景観賞授賞式を開催しました!

去る11月26日にヒルトン福岡シーホークにおいて「2013アジア都市景観賞 授賞式」を開催しました。

「アジア都市景観賞」は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標とし、アジアハビタット協会をはじめ、福岡アジア都市研究所、国連ハビタット福岡本部、アジア景観デザイン学会によって2010年に創設され、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、大きなプロジェクト等をアジア各国・地域から募集・選考し、表彰する国際賞です。

今年で4回目を迎えるこのアジア都市景観賞は、「都市の誇りを育む景観」のテーマのもと、5カ国11団体が受賞し、海外から中国・韓国・香港・インドネシアから50名以上、国内は松江市・長崎市・下関市・北九州市の受賞者と領事館来賓や招待客を含む60名以上、延べ110名を超す参加をいただき授賞式・交流会は盛会裏に開催されました。

今回の受賞は以下の通りです。(順不同)

- ・松江市 「縁雫(えにしずく)による雨の日の松江プロジェクト」
- ・長崎市 「出島復元整備事業とまちづくり」
- ・北九州市・下関市 「関門海峡が結ぶ景観に配慮したまちづくり」
- ・韓国 大邱市 「大邱再発見による都市再生プロジェクト」
- ・韓国 ソウル市 「松坂水路復元事業」
- ・中国 杭州市 「杭州白馬湖農居SOHOプロジェクト」
- ・中国 泰州市 「華沢ワールドガーデンプロジェクト」
- ・中国 淄博市 「沂源(YI YUAN)都市部居住環境改善事業」
- ・ベトナム Da Nang市 「環境都市 Da Nang」
- ・ベトナム Hoi An市 「Hoi Anの都市景観保全事業」
- ・インドネシア Surabaya市 「Bungkul公園改修事業」



ポスターには、日本語、英語、中国語、韓国語の説明文を併記しております。また、授賞式当日に配布された冊子「2013 ASIAN TOWNSCAPE AWARDS」をご興味のある方に差し上げています。この機会にご覧いただき、都市景観や本事業へのご理解を深めていただけましたら幸いです。また、過去第1～3回のポスターも所蔵しています。ご希望に応じてご覧いただけますので、ご遠慮なくお申し出ください。(主任研究員 夏井圭介)

## 市民研究員活動報告

平成25年度の市民研究員は「人が集い輝く福岡のまち～いきいきと暮らせる・働ける福岡を目指して～」をテーマに、6月末より研究を進めて来ました。今般、各人の研究テーマや課題が固まりつつあることもあり、研究の進捗報告のための「平成25年度市民研究員中間発表会」が、11月12日、URCの会議室にて開催されました。(写真 左から2枚)

市民研究員のOB・OGや関係者等の参加の下で行われた今回の中間発表会では、6人の市民研究員が10分発表5分質疑というタイトなスケジュールの中で、約5ヶ月間の研究進捗状況を順次発表しました。質疑の際に参加者側からは、市民研究員への激励の言葉はもとより、研究活動に関する助言や意見もなされ、今後の研究方向性について共に考える貴重な時間となりました。発表会の後は親交を深めるために懇親会も行われました。

さらに、中間報告会の終了後11月21日には「平成25年度市民研究員まちあるき」を実施しました。現在平成25年度の研究テーマに関し、様々なまちづくり・人材育成等の事例を調査中ですが、その参考事例として、観光都市としてのおもてなしや、留学生の地域連携に意を注いでいる大分県別府市が調査の対象地となりました。午前中には、別府市役所の文化国際課を訪問し、留学生や高齢者の地域関与の現況、その他市民研究員の調査研究対象に関する取組みの聴講と質疑懇談が行われました。また、午後からは、NPO法人ハットウ・オンパク(写真中央)を訪れ、観光資源/人材/情報発信を有機的に連携させ、ホスピタリティと産業活力の向上を図る取組みの聴講と質疑懇談を行なった後、同法人が実施する体験プログラム(路地裏散策(写真 右から2枚))を体験しました。

来年の2月23日に予定されている研究成果報告会まで残り後わずかですが、今回の中間発表会及びまちあるきを通し、研究成果がより高まることが期待されます。(研究員 柳基憲)



## 都市情報

## データで振り返る2013年

SERIES Fukuoka Growth 3

人口150万人突破(政令市6位、増加数、伸び率1位)

福岡市の

推計人口(2013年10月現在) [政令指定都市上位]

都市名	推計人口(人)
横浜市	3,702,551
大阪市	2,683,487
名古屋	2,271,380
札幌市	1,936,189
神戸市	1,539,751
福岡市	1,506,313
京都市	1,470,742
川崎市	1,448,196

2010年 2013年人口増加数 [政令指定都市上位]

都市名	2010.10→2013.10 (人)
福岡市	42,570
川崎市	22,684
札幌市	22,644
仙台市	22,525
さいたま市	21,002
大阪市	18,173
横浜市	13,778
広島市	9,313

年間人口増加率 [政令指定都市上位]

都市名	2010.10 2013.10 (%)
福岡市	0.97
仙台市	0.72
さいたま市	0.57
川崎市	0.53
札幌市	0.39
広島市	0.26
大阪市	0.23
岡山市	0.18

(参考)東京23区 9,059,903

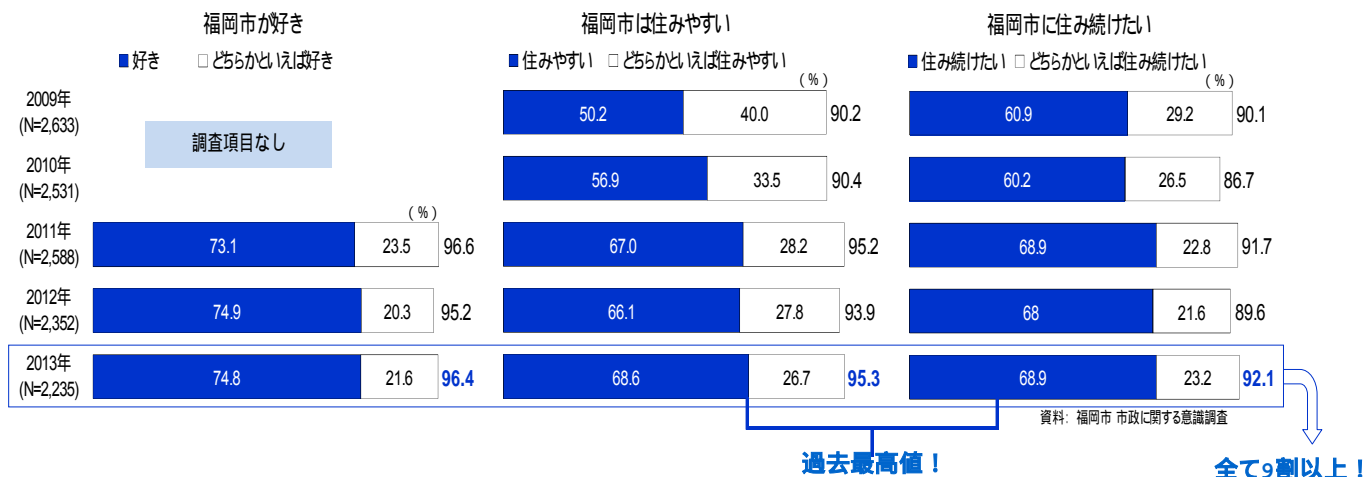
(参考)東京23区 114,208

(参考)東京23区 0.43

資料: 国勢調査(2010年)  
各都市公表値(2013年10月1日現在推計)  
増加率は2010年10月から2013年10月の増加率を年平均化した値



## 市民の住みやすさ過去最高評価・トリプル9達成



今年も、福岡市にはさまざまなトピックがありました。今回は（一部ですが）データで福岡市の2013年を振り返ってみます。まず、5月の推計人口で、福岡市はついに人口150万人を突破しました。現在も増加を続けており、2010年からの人口増、伸び率とも政令指定都市では全国一です。特に人口増加数は他都市を圧倒しています。他県などから多くの人々が、新たに福岡市民になっているということですが、市政意識調査での福岡市が「好き」「住みやすい」「住み続けたい」は、今年はいずれも9割以上、住みやすさなどは過去最高評価となりました。新しい市民の方も、福岡市の暮らしやすさを実感していただいている結果といえます。さらに、世界の都市の中でも、福岡市の住みやすさは12位（英モノクル誌選定）にランクインするなど、内外の評価が高まっています。住みやすい福岡市を評価し、多くの人々が集まっているということです。2014年も、福岡市の明るいデータをたくさん紹介していきたいと思えます。（情報戦略室 畠山 尚久）

福岡アジア都市研究所 情報戦略室 URC Information & Strategy Office

## 今月のおすすめ

### 城南区の歴史散策 - 「城南区歴史探訪講座」報告書 城南区役所生涯学習推進課 平成25年3月発行

今回、ミニセミナーに来てくださった当時の事務局長池田澄男さん（現在城南保健福祉センター所長）が、大塚さんの姪浜の宝を大切にまちづくりに活かしてある事例をご覧になって、薦めてくださった1冊です。以下、池田さんのコメントを引用させていただきます。

福岡大学の桃崎教授が地域の方と一緒に城南区の遺跡や史跡を掘り起こされており、城南区内のいろんな歴史遺産が満載され、「自分の住んでいるところでもこんなものがあるといいな」という作品になっていると思います。

自分たちが住んでいる周辺にあって気になる存在だけどその由来までは知らない史跡を、丹念に拾い上げ記録に残せばおもしろいし、これをカテゴリーごとに分類し、それぞれの時代背景においてその地域にこんなものが必要とされたなど、おもしろい研究テーマの素材になるような気がしています。

地域史跡のアーカイブであると思いますが、好きなところから拾い読みしても読んで楽しめるし、金山校区の「幸せの黄色いポスト」などの異色作もあり、これを読んでから「歴史散策ウォーキングマップ」を片手に城南区を散歩すると楽しみが増すと思えます。

### 福岡博覧 福岡市博物館監修 平成25年11月発行

来年、2月9日日曜日に初めて行われる「第1回福岡検定」の参考書で、受検される方必読の1冊です。申込期間は12月25日水曜日までです。

### アジア都市景観賞のポスターおよび授賞式当日に配布された冊子「2013 ASIAN TOWNSCAPE AWARDS」

1pでお知らせしたとおり、今年で4回目を迎えたアジア都市景観賞の授賞式で使用した受賞地域のポスターを展示しています。今回は初めて、4ヶ国語によるポスターになっています。平成26年2月27日木曜日まで展示しています。この機会に是非ご覧ください。また、関連資料「2013 ASIAN TOWNSCAPE AWARDS」(写真)をご希望の方に差し上げます。



2013 ASIAN TOWNSCAPE AWARDS  
CONFERENCE PROGRAM  
WINNING PROJECT INTRODUCTION  
Townscapes ; a Source of People's Pride  
November 2013, Fukuoka Japan

